

# サポートセンター通信

NO. 35

発行元：松本市民活動サポートセンター  
 〒390-0874 松本市大手3-8-13  
 松本市役所大手事務所2階  
 TEL/FAX：0263-88-2988  
 E-mail：support-center@support-center.jp



市民活動フェスタ2011 ぼくらの学校

いよいよ  
開催！

# わをつなげよう

『ぼくらの学校』は、松本を中心に活動する市民活動団体が日ごろの活動を発表する年に一度のお祭り。今年、35団体の参加による様々な催しが、2日間にわたってあがたの森で繰りひろげられます。

## Everlyオープニングコンサート

10月1日 正午～午後1時

会場：講堂

「第23回国連軍縮会議 in 松本」関連事業として開催。4人組ユニット“Everly”による平和を祈るコンサートプログラムです。

## 市民活動フォーラム

10月2日 午前10時～正午

会場：講堂 講師：田中 尚輝 氏

「知っていますか義援金と支援金の違い」と題し、講演や市内で被災者支援に携わった人のパネルディスカッションを通して、被災者へのより効果的な支援の方法や市民活動を支えていく仕組みづくりについて考えるフォーラムです。



## ポスターセッション

10月1日 午後1時～2時

10月2日 午後1時～2時15分

会場：講堂

講堂内に設けられた各団体のブース。ポスターセッションの時間は、説明員が展示の説明をします！

## スタンプラリー

1日目 午後3時30分 当選発表

2日目 午後2時15分 抽選会

ポスターセッションやワークショップでスタンプを集めて、景品をゲット！



## 販売コーナー

10月1日 午後1時～午後4時

10月2日 午前10時～午後2時15分

並木道にテント群が出現！

お食事やオリジナルグッズの

販売などがあります！



お楽しみ要素満載！  
気軽にきてね

主催：ぼくらの学校企画委員会  
 於：あがたの森 講堂棟／公園並木道  
 日時：10月1日（土）正午から  
 10月2日（日）午後3時迄

【お問合せ：事務局 市民活動サポートセンター】

## ステージパフォーマンス

10月1日 午後2時30分～3時30分

10月2日 正午～午後1時

講堂や並木道で音楽や踊りなど日ごろの活動の一端を披露します！



## ワークショップ

各種ワークショップを体験しよう！

テーマ	会場	主催
積み木遊び	第1会議室	オイスカ産業開発財団
お手玉遊び	第1会議室	浅間温泉の市でお手玉を楽しむ会
英語で交流	第2会議室	JALT SHINSHU
食の安全	第5会議室	松本新興塾
エコクラフト	外テント	山口 明男
体操体験	外テント	NPO 総合体操 Wing
立体模型づくり	ポスターセッションと	松本シニアネットクラブ
アルバムづくり	同時開催	オフィスロイヤル
ミニ本づくり	同時開催	本と子どもの発達を考える会

時間：1日 13:00～16:00 / 2日 10:30～15:00  
 1日 13:00～15:00 1日 13:00～15:00  
 1日 13:00～16:00 2日 10:00～14:30

## 団体交流ワークショップ

10月1日 午後4時～5時30分

会場：講堂 主催：松本政経塾



市民活動団体の交流を目的に、テーブルトーク

ワークショップを一般公開終了後から開催します！

今回出展しない団体もぜひご参加ください！



# 松本を“草の根の拠りどころ”へ

## 第23回国連軍縮会議 in 松本



7月27日～29日までの3日間、世界各国の政府関係者・研究者の方が軍縮について話し合う国連軍縮会議 IN 松本がホテルブエナビスタで催されました。開催に合わせて、松本市が実施した平和関連事業の他に、多くの市民企画プログラムが開催されましたが、今回は、そのうち『国際草の根軍縮会議 IN まつもと』を企画・実施された『平和を考える市民の集い』代表の望月みつよさん（写真右）にお話を伺いました。



### \_\_活動を始めた経緯を教えてください。

2010年10月発行の市民タイムスを見て、松本で軍縮会議が行なわれることを知りました。元々活動していた“環境と平和活動”という活動団体が10年目の節目にあたる機会でしたので、平和について考える場をつくりたいと思って『平和を考える市民の集い』を発足しました。

### \_\_今回の企画（国際草の根軍縮とピースパレード）をやると思った経緯は？

松本市が市民企画に支援金を出すという情報を3月に知り、会の中でどのような企画が良いか、案を検討し、その中から市民軍縮会議（草の根会議）とピースパレード（3ページ目）を提出したところ、市民企画として採用されたので、実行に向けて活動がますます活発化していきました。



左) サポートセンターでの会議の様子。毎回熱い議論が繰り返されました。

### \_\_会の構成メンバーはどれくらいいるのですか？

最初は私の知り合いやネットワークを通じて呼びかけた20名程度でしたが、最終的には50名ほど、長野県各地から参加がありました。平和や命を考えることは境がないから、人はどこからでも集まるのです。

### \_\_苦労された事はありませんか？

自主的にやりたいことをしていたので、苦労した事はありません。喧々諤々になってしまったときはあったけれど、お互いが包み隠さず言いたい事をいえる環境が作れたことは良かったことだと思っています。

### \_\_今後の活動予定は？

10月1日、2日に実施されるぼくらの学校で、今回の活動内容を紹介するパネル展示を行ないます。

また、11月27日に松本文化会館で行なう安斎育郎さん（立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長）の講演会の実行委員を草の根メンバーで務める事になりました。私達のこのような活動が“松本モデル”として残せて行けたら本望です。

これからは日本、世界へとグローバルに一人ひとりが草の根として何を発信できるかが大切です。そのためには市民の横のつながりを広げ、新しい絆を作っていく方法を考える必要があります。情報を共有し、個人同士のネットワークをどうやって確立していくかが、今後の市民・行政の課題ではないかと思っています。

## — わたしたちの力は“ゼロ”じゃない —

7月29日（金）勤労者福祉センターで昼の部と夜の部に分かれて開催された草の根軍縮会議 in まつもと。昼の部では広島平和文化センター理事長スティーブ・リーパーさんとちひろ美術館前館長の松本猛さんの講演がそれぞれ行なわれました。その中でリーパーさんが仰った「草の根の動き、市民の力が一番大切」という言葉は、



国連軍縮会議開会の際に長崎市長が紹介した、長崎で平和活動を行なう高校生達の合言葉「微力だけど無力じゃない」という言葉とも繋がり、社会を動かす力の根源は一人の人間、そしてそこから広がる市民社会であるということを改めて思い起こさせました。

夜の部は18時30分から、200人余りの聴衆とともに開催されました。パネリスト（写真左）の一人、日本チェルノブイリ連帯基金事務局長の神谷さだ子さんは、福島県での活動の報告を通じて「チェルノブイリで見たことがそのまま福島で繰り返されている。子どもたちの命をどう守るかが大切な問題」と訴え、広島で被爆し、姉を亡くした長野県原爆被

害者の会会長、藤森俊希さんは「真実を見抜いて声を挙げていくために勉強しましょう。今日の聞き手が明日の語り手になるために」と呼びかけました。会場からも、沖縄の基地問題等に関して活発な意見が寄せられました。

最後に大会宣言として、「命はこの世でたった一つのかげがえのないもの。戦争のような反人道的犯罪を許していることは、自分たち“草の根”自身の責任であることを厳格に認識し、『戦争のない地球共同体』実現を目指して行動していく」ことを宣言して、会議は終了しました。





# 私から世界に平和を！ まつもとピースパレード



まつもとピースパレードは7月27日（水）に行なわれました。15時から始まった準備では「人が集まるか正直心配...」と言う声も聞こえましたが、18時30分、コーディネーターのきくちゆみさん（写真右）のスピーチで幕を開けたピースパレードは、思い思いの旗を持って、松本駅前公園からゴールの松本城を目指しました。



途中、POLYCHROMEによる一輪車パフォーマンスもパレードに花を添え、350人余りの方が参加されたピースパレードは無事松本城に着きました。

松本城では『ぼこ・あ・ぼこ』や『コカリナふきまい会』、『雅音人（ガネット）』のミニコンサートが行なわれました。また、震災後に福島から避難されたご家族が、平和への思いを語られており、改めて多くのことを考えさせられました。



一つ一つ手作りで作られたキャンドルはとても幻想的で、心が温まりました。

## NPO豆知識

## NPOから元気を発信していきましょう！！

NPOの最大の課題はマネジメント能力と人材の確保だと言われています。しかしこの問題を解決するためには、人材の能力といった人的課題以前に、社会の構造的な仕組みから変えていかなければならないような課題も多くあります。例えば、多くのNPOが財政的な課題を抱えていることは事実ですが、そもそもNPOが担う地域活動は企業が手を出さない、儲からない事業領域であり、収益性を高めることが困難だからこそNPOに託された事業領域なのです。また自発的な活動なので、お金が無くてもやるし、実はお金には換えられないビジョンや理念、夢があるからこそできるのです。

NPO法人が社会活動や地域活動をもっと活性化し促進させるためには、他の人達とそのビジョンや理念、夢を共有し、それによって個人や企業にメリットがたくさん生まれ、自分の事として関わっていくようになる仕組みづくりが必要です。活動を支える助成金・補助金などの情報は、随時サポートセンターのHPでお届けしています。また、支援金の重要性について語るフォーラムを10月2日の市民活動フェスタの中で開催しますので、ぜひご参加下さい。情報を活用しつつ、未来を見据え、みんなで助け合いながら働く協働の精神とその仕組みを育てていきましょう。

**大震災があった今、日本の元気を取り戻すためにNPOから元気を発信していきましょう。**

サポートセンターHPの助成金情報ページ <http://www.support-center.jp/info/fund.html>



## イベント情報をお寄せください。

センター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。

### 平成23年度 松本市民教育講座(全6回) ～生涯学習による新たなる私の発見～

第4回 10月8日(土)  
有路憲一准教授 恋する脳 - 女と男  
～脳は恋するとどうなるか～

第5回 11月11日(金)  
坂本保富教授 老化の教育的な意味  
～老いることは成熟すること～

時間: 14:00～16:00  
会場: 中央公民館(Mウイング南棟)  
費用: 無料

主催: 松本市中央公民館  
共催: 松本自己教育の会  
【申込先】中央公民館・生涯学習課  
TEL: 0263-32-1132



お申込は、上記までお電話にてお願いします。  
駐車場はMウイング北棟があります。(有料)

### 第2回 信州アディクションセミナー

各種アディクション関係の自助グループ・団体メンバーによる体験発表、分科会、アピールタイムなど。

基調講演 「若者の飲酒の背景にあるもの  
～「故意に自分の健康を害する」症候群～」

松本俊彦先生

(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部  
診断治療開発研究室長 自殺予防総合対策センター 副センター長)

日時: 9月25日(日) 10:00～17:00  
会場: 松本市あがたの森文化会館  
費用: 入場無料  
主催: 信州アディクションセミナー実行委員会  
共催: 松本市

【お問合せ】: 信州アディクションセミナー  
実行委員会事務局 TEL: 090-9666-2507  
FAX: 0263-55-5169



Mail: shinshu.addiction.seminar@gmail.com  
駐車場が少ないので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。  
プロの託児スタッフがスタンバイ。セミナー中、2歳～小学生までのお子さんをお預かりします。9月18日までに事務局までご相談下さい。(費用は子ども一人当たり500円)

### NPO運営セミナー第1弾【10月25日(火)】

#### NPOの運営と事業作り

9:30～12:00・・・NPO基礎講座  
13:00～16:00・・・ゼロからの事業企画

「講師」増田 綾子氏  
(特定非営利活動法人 くらりnet 事務局長)

「事例発表」小笠原 恵美子氏  
(特定非営利活動法人 長野サマライズセンター 事務局長)

会場: あがたの森文化会館 定員: 各講座30名  
費用: 受講料(無料)・資料代(一講座あたり500円)  
主催: 特定非営利活動法人 くらりnet

飯田市中央通り4丁目2番地3 ガーデンスプラザ2階

【申込・お問合せ】TEL・FAX: 0265-56-8056  
E-mail: info@clari-net.org

サポートセンター共催事業として行なわれるセミナー。  
今回は第1弾! 今後もNPOの運営に関わる様々な講座が続きます。要事前申込。サポセンHPからご確認下さい。

### NPOのための経営研修会 6回連続講座

資金不足・人材不足・認知度不足 を解消!

「NPOの経営概論」11月6日  
田中尚輝氏(長寿社会文化協会)

「ファンドレイジング」12月17日・18日  
徳永洋子氏(日本ファンドレイジング協会)

「仲間の増やし方と組織づくり」1月14日  
鈴木 歩氏(シズ・市民運動を支える制度をつくる会)

「NPOだからできる広報術」2月18日・19日  
吉田理映子氏(ハンズオン埼玉)

時間: 10:00～16:30

会場: 塩尻市市民交流センター

定員: 20名(先着順)

参加費: 6回分6,000円(資料・お茶代他)

#### 【お問合せ・申し込み先】

持続可能な松本平創造カンパニーわおん

TEL・FAX・・・050-3004-2388

E-mail・・・waon@ac.auone-net.jp

原則として、6回すべてに参加できる方。

10月23日(日)までに電話/FAX/メールのいずれかで、お名前・所属団体・住所・電話番号・FAX・Mail・研修に期待すること、普段の活動の課題等をお知らせ下さい。先着順となりますのでお早めにお申込下さい。



### 「傾聴ボランティア講座・初級」受講者募集

毎年好評の「傾聴ボランティア講座・初級」を下記のとおり開催します。『会話』は話し手より聴き手が重要です。そんなコツを学びませんか?



記

期日 10月27日(木) 28日(金) 29日(土)  
(29日は公開講座)

時間 9:30～16:00まで(29日は午前中のみ)

会場 市民活動サポートセンター(大手事務所2階)

参加費 3日間で1,000円(公開講座のみの方は500円)

受講条件 3日間受講でき、今後ボランティア活動にご協力いただける方

募集人数 36名(先着順) 初心者優先

(29日は60名まででどなたでも参加可)

申し込み、問合せ 松本市ボランティアセンター

TEL 25-7311



### 編集後記

松本へ来て3年目にして初めて、『松本ぼんぼん』を見ました。国連軍縮会議を取材させていただいたこともあり、松本ぼんぼんを見ながら「これも平和だからこそ出来るんだなあ」とささやかな平和を見つけた気がします。(戸澤)

軍縮会議での高校生の発表を見て、核や戦争がなぜなくならないのか、ということ若くてピュアな視点から訴えかけることが必要だと感じました。(炭谷)

まだまだ暑い日が続いていますが、皆様どうぞお体にお気をつけてお過ごしください。